

## わがクラブの**人気プログラム** ～ウルトラC&Sクラブ（鳥取県境港市）～

### サッカー国際交流プログラム

鳥取県境港市。この小さな市で活動している地域スポーツクラブが、サッカーを通じて海を越えた友情の輪を広げました。

境港市には、平成21年から韓国とロシアを結ぶ国際定期貨客船「DBSクルーズフェリー」が寄航しており、海外がより身近なものとなりました。境港市と韓国の東海（トンヘ）市、ロシアのウラジオストク市は、この貨客船を利用した教育・文化・スポーツ面での相互交流を始め、様々な分野での交流が盛んに行われています。

ウルトラC&Sクラブ（以下、C&S）とロシアとの交流のきっかけは、今年の夏、ロシアの少年サッカークラブ「FCパヴィノ」が境港市を訪れた際の交流を、市の生涯学習課からC&Sに依頼されたことが始まりでした。C&Sが主催するビーチサッカー大会に招待し、交流を深めたC&SとFCパヴィノ。「来年はぜひロシアに来てください」と固い約束を交わしました。

C&Sは境港市当局と連携して準備を進め、今年の8月にロシアでの交流が実現することとなりました。さらに、ロシアだけではなく、韓国の東草（ソクチョ）中学校との交流試合も決定するなど、子どもたちにとって2つの国と交流できる貴重な機会となりました。

この交流を通じて、鳥取県のサッカー競技のレベルアップ、また、青少年に国際交流の経験を積んでもらうことが狙いです。

C&Sからは、中学2・3年生のメンバー20名と、会長、指導者の計22名が参加しました。5泊6日の遠征となりましたが、渡航に掛かる費用は国際交流財団の補助金や、クラブ内で寄付金を募り集まった資金を活用するなど、なるべく個人負担を抑えられるよう工夫しました。

ロシアと韓国で行った交流試合では、体格の違い、技術の違いを体で感じたようです。日本では経験できないトレーニングやレベルの高い試合をこなしたことで、個々に見えてきた新たな目標と課題を日本に持ち帰り、日々の練習に活かされています。

滞在中、日本の子どもたちは、自分たちから挨拶したり話しかけるなど積極的にコミュニケーションを図り、交流を深める姿も見られました。また、移動中の船内での過ごし方など、サッカーだけではなく社会のマナーやエチケットなども学ぶ機会となったようです。

ロシアと韓国に渡り、貴重な経験を積んだ子どもたち。この経験が、今年10月に行われた「高円宮杯鳥取県大会」の優勝に大きくつながったことは間違いありません。

この交流が実現したのも、クラブと行政が良好な関係を築けているからこそであり、関係機関との相互の協力・連携がスムーズに行われているためです。

関係者がそれぞれの枠を超えて協力し合える体制をつくるのが、夢を追いかける子どもたちの応援や支えとなり、それが地域全体の活性化につながっていくのではないのでしょうか。

この小さな市のクラブから、海外で活躍する選手が誕生する日も近いかもしれません。

中村千晶 鳥取県クラブ育成アドバイザー





## 【ウルトラC&Sクラブ プロフィール】

- 1. 設立** 年月日：平成 20 年 4 月 1 日。  
経緯：平成元年に立ち上げた単一種目クラブ（Jr サッカー）を総合型クラブへ移行。
- 2. 地域** 人口：鳥取県境港市。人口 35,152 人（平成 23 年 11 月 1 日現在）  
特性：観光資源は水産業と妖怪漫画でおなじみの「ゲゲゲの鬼太郎」。
- 3. クラブ** 会員数：222 名（平成 23 年 11 月末日現在）。  
特徴：ジュニアサッカーを中心としたクラブ  
予 算：856 万円
- 4. 連絡先** 〒684-0071 鳥取県境港市外江町 2070-10  
ウルトラ C&S クラブ事務局  
電話・FAX：0859-42-3224  
URL：<http://ultra-cs.jp/>

関連リンク：中村千晶氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/31.html>